

# 国際交流員(CIR)活動ページ

2017年 11月号 No.96



アンニョンハセヨ(こんにちは)。韓国の国際交流員ジョ・ヒウンです。

私の趣味は、散歩・読書・空を見上げることです。そこに、霧島に来たことでもう一つ追加されました。夜空を見上げることです。この間、親友が結婚して、故郷の釜山に行ってきました。鹿児島空港前でバスから降りたら、夜空に輝いているたくさんの星が見え、霧島に帰ってきたなぁと感じました。釜山は大都市ですので、高いビルも多く、夜中でも街は色々な光で明るくて、なかなかきれいな星の夜空を見ることはできません。霧島に赴任してから半年経ちましたが、その間に自然と共に暮らすことを楽しめるようになってきたと思いました。感謝の気持ちを持って、これからの霧島生活も楽しんでいきたいです(^-^)

## 『みんなのじんけん講座』で、市民の方々に会いました



10月10日、夜7時から国分シビックセンター1階メディアセンター鑑賞室で、「みんなのじんけん講座」がありました。障害者の人権、コンドで学ぶ人権、子供の人権に続き、今回は外国人の人権というテーマで、国際交流員3人が発表しました。

3人それぞれ日本と違う自国の文化、日本に来て区別や差別されたと感じた経験、自国の外国人に対しての区別や差別などについて語りました。発表が終わってからは、参加された市民の方々とグループごとにディスカッション(討論)も行いました。発表内容や異文化について質問されたり、自分の意見を語ったりしながら、外国人の人権や異文化に触れていただきました。

今回の講座を準備する中で、「人権」という言葉の重さを改めて感じながら、普段の生活ではなかなか考えられないことについて考えることができ、私たちにとっても大変有意義な時間となりました。自分も気付いてなかった自国での外国人に対しての差別や中国とアメリカの話も聞くことができましたので、とても勉強になりました。この講座は、社会的少数派の人権について話していますが、区別や差別は社会どこでも起こっていると思います。どんな出会いでも、人を尊重する気持ちさえ持てば、人を不愉快な気持ちにさせることはなくなるのではないかと思います。

「みんなのじんけん講座」は、今後も性的少数者(11月21日)、同和問題(12月12日)をテーマとして続きます。興味がある方は、社会教育課(64-0708)までお問い合わせください。

## 「鹿児島神宮隼人浜下り」に初めて参加しました

10月15日、「鹿児島神宮隼人浜下り」に行ってきました。隼人浜下りは、養老4(720)年ごろ、隼人の乱で戦った人々の慰霊のために始まったといわれる伝統行事です。鹿児島神宮で神事が行われ、御神輿や隼人職、武士、女官などの衣装を着た人たちが行列を成して浜之市港まで歩きました。

私と中国のりさんは巫女さんの衣装を着て、アメリカのジョセフさんは五色の御旗を持って歩きました。私たち以外にも、ALT(外国語指導助手)や志學館大学の留学生などが参加して日本の文化を楽しみ、参加された市民の方々と交流もできました(^-^)。霧島に赴任してから様々な地域イベントに参加していますが、地域の伝統文化を守っていこうと努力している多くの方々がいることがうらやましく、学びたいところだと思っています。今回の行事を通し、霧島についてより理解を深めることができうれしいです。これからも霧島について色々学んでいきたいと思っています。



発行: 霧島市役所市民活動推進課国際交流グループ  
連絡先: 45-5111(内線1531~2) 国際交流員(CIR)

